

【 画像診断 】

53 家族性高コレステロール血症でのアキレス腱に対する画像診断の算定について

《令和6年2月29日》

○ 取扱い

家族性高コレステロール血症でのアキレス腱に対するE001 写真診断「1」単純撮影及びE002 撮影「1」単純撮影の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

家族性高コレステロール血症では、腱黄色腫（アキレス腱肥厚を伴う）や眼瞼をはじめとした皮膚結節性黄色腫を呈することが主要徴候の1つであり、成人（15歳以上）の家族性高コレステロール血症に対する診断基準の一つに掲げられている*。

このため、家族性高コレステロール血症でのアキレス腱に対するE001 写真診断「1」単純撮影及びE002 撮影「1」単純撮影の算定は、原則として認められると判断した。

（※）成人家族性高コレステロール血症診療ガイドライン2022（日本動脈硬化学会 FH診療ガイドライン作成委員会）において、「アキレス腱肥厚はX線撮影により男性8.0mm以上、女性7.5mm以上、あるいは超音波により男性6.0mm以上、女性5.5mm以上にて診断する」と示されている。